装着後は必ずしっかりと固定されているか上下左右にゆすって確認してから走行して下さい。

●品質向上・改良の為予告無く仕様・デザインを変更する場合がありますので予めご了承下さい。

製造・販売

オージーケー技研株式会社

577-0066 東大阪市高井田本通6丁目2-32

TEL：06-6782-4353（代）

E-mail：info@ogk.co.jp

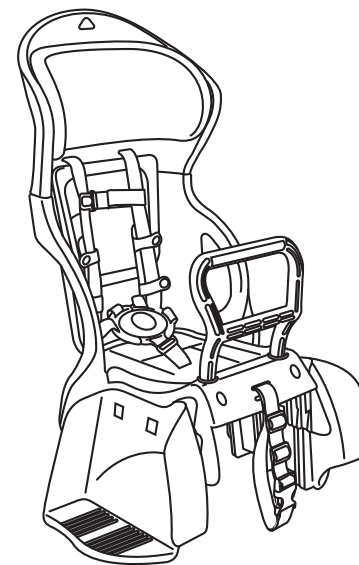
ホームページ：http://www.ogk.co.jp

B8589000-120801

OGK

ヘッドレスト付カジュアルうしろ子供のせ RBC-015DX

取付取扱説明書

⚠警告 取付けは自転車販売店にお申し付けください。

製品重量：約3.6kg

⚠ 取扱い注意事項 この説明書は、ご使用の前に必ずお読みください。読んだ後は必ず保管してください。（自転車販売店の方はお客様に幼児座席の取扱いについて必ずご説明の上、お客様にお渡しください。）

⚠ 本書に使用しているイラストは操作方法や構造、仕組みなどを分かりやすくするため、現物とは多少異なる場合もあります。

ご使用出来るお子様と自転車

ご使用になられるお子様の年齢及び体格を確認し、指定範囲以外のご使用はしないでください。

●適用体重：体重21kg以下（クラス25後ろキャリヤ使用時）、体重22kg以下（クラス27後ろキャリヤ使用時）

●適用年齢と身長：1歳（12ヶ月）以上6歳（72ヶ月）未満のお子様で身長115cm以下。（※乗車は2歳以上を推奨とします。）

●適合車種：後ろキャリヤの幅が150mm以上173mm以下の22～27型シティ車（婦人車、軽快車等）

（※両立スタンド装着車に限る。※ドレスガード付自転車に限る。）

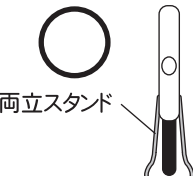
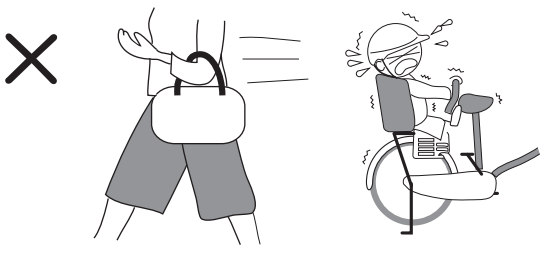
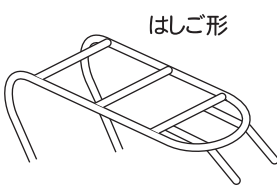
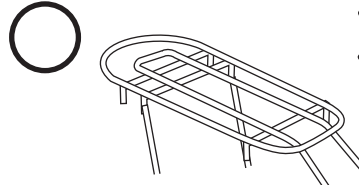
（※自転車の取扱説明書又は表示に”子供のせ又は幼児座席は取付出来ません”と記載されている自転車には取付けしないでください。後ろキャリヤを交換する事で取付けが出来ると記載のある場合は必ず自転車販売店でクラス25以上の後ろキャリヤに交換してください。）

（※幼児2人同乗用自転車の場合は、自転車販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書で製品が取付け可能な子供のせである事を確認してください。）

安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただく為に、次のような表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

⚠警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある内容を表示しています。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、使用者が損害を負う可能性がある内容を表示しています。

■絵表示の説明

⃠	安全上してはいけない内容及び行為を表す内容です。
!	使用者に必ず実行していただく内容です。

⚠警告

- これは自転車用の後ろ子供のせです。他の目的に使用しないでください。⃠

- 自転車の後ろキャリヤ以外の場所に取付けないでください。!
- 取付けは自転車販売店にお申し付けください。!

- 自転車に取付ける子供のせは1つに限り、同乗させるお子様は1人に限ります。但し、幼児2人同乗用自転車の場合は、自転車販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書で本製品が取付け可能な子供のせである事を確認の上、前用子供のせと合わせて2つ取付ける事ができます。!
- 自転車に子供のせを取付け、お子様を同乗させる事により、自転車のハンドル操作や走行安定性を損ない、ブレーキをかけた時には制動距離が長くなります。!
- 使用する時は、後ろキャリヤ取付けネジも含めネジ等の緩みが無く取付けが確実である事を確認してください。又、破損、変形等したままでは使用しないでください。!
- 一本スタンドの自転車には取付けしないでください。必ず、ロック付の両立スタンドをお使いください。⃠

- 自転車に同乗させるお子様は一般の自転車では1人、幼児2人同乗用自転車は前後に各1人に限り、使用できる幼児の年齢、体重及び身長の範囲を守ってください。⃠
- お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。!

⚠警告

- お子様を子供のせに乗せる時は荷物等を積んだ後に乗せ、おろす時は荷物等をおろす前にお子様をおろしてください。!
- お子様を乗せる時には、お子様が正しい姿勢である事を確認し、特に足部が車輪等に巻き込まれないよう、その位置に注意してください。⃠
- 後ろ子供のせの取付けに際しては、いわゆる「はしご形」のパイプキャリヤ等、外枠のみで子供のせを締め付ける為に、取付ステーが反って変形してしまう後ろキャリヤには、取付けないでください。
  （取付ステーが反って変形すると、使用中に振動等で締め付けが緩みやすく子供のせが脱落する恐れがあります。）⃠

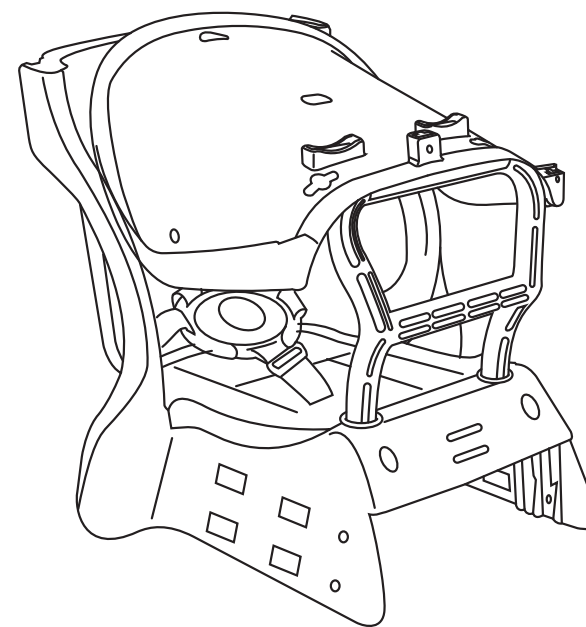
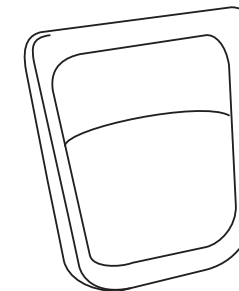
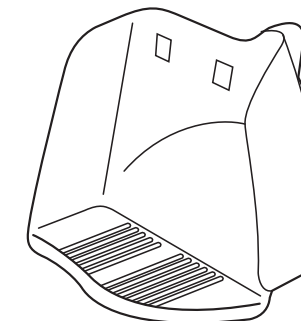
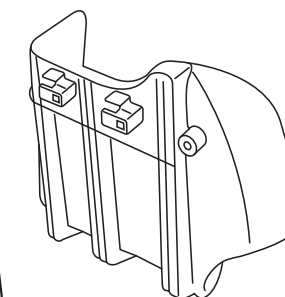
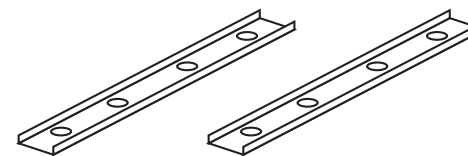
- お子様の足部安全の為、必ずドレスガードと併用してください。後ろ車輪にドレスガードの付いていない自転車には必ずお子様の足の届く範囲を覆うドレスガードを取付けてください。!
- お子様を事故から守る為にヘルメットを必ず着用させてください。ヘルメットを着用させない場合の事故は重傷になりますが、着用させた場合は軽傷で済む事が報告されています。又、運転なさる方も出来るだけヘルメットを着用してください。!

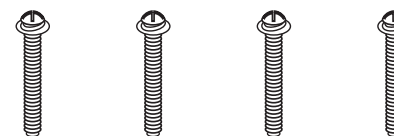
- 子供のせの装着出来る後ろキャリヤは、クラス25、クラス27のキャリヤに限ります。⃠
- 後ろキャリヤに表示されている最大積載質量を必ず守ってください。
- 使用中、お子様の手足が届く範囲に自転車錠がある場合は、錠が作動する場合がありますので、その位置には充分注意してください。
- お子様の首にシートベルトがかからないよう注意してください。⃠
- 走行中は急ブレーキ、急ハンドルは避けましょう。
- 悪路走行やアクロバット走行を行わないでください。

⚠注意

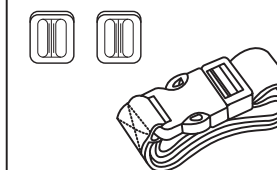
- 子供のせの取付位置はペダルを漕いだ時、運転なさる方のかかとが子供のせに触れない場所に取付けてください。
- 自転車のリヤリフレックスリフレクタ（後ろ反射板）の後方からの視認を妨げていないかよく確認し、妨げないように取付けてください。
- お子様には必ず靴を履かせてください。
- お子様を乗せる時は付属のシートベルト(腰ベルト、肩ベルト及び股ベルト)を必ず使用してください。
- お子様が眠らないように注意してください。
- シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- 子供のせを雨ざらしにしないでください。
- 自転車の表示、取扱説明書を確認して、その自転車に子供のせが取付け可能かどうかを確認してください。自転車に子供のせの取付け可否の表示の無い自転車は、適合自転車対象外になる為、装着が出来ません。自転車の取扱い説明書で判断できない場合には、自転車販売店に必ず相談してください。
- お子様を乗せおろしする時は必ず平坦な場所でスタンドをロックして行ってください。
- 乗車及び走行中はお子様がグリップをしっかり握るように注意してください。
- 火気高温に近づけないでください。
- ヨゴレは水を含ませた雑巾等で拭取ってください。シンナー・ベンジン等は付着させないでください。
- シートベルトの寿命は約2年です。異常がなくても必ず定期的に適正なシートベルトと交換してください。（有料）
- 使用にあたっては交通法規を守ってください。
- SGマーク制度は、子供のせの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。（新品で購入した日より3年間）
- 6歳以上の児童を同乗させる事は道路交通法違反となり、違反の場合はSGマーク制度の賠償対象外となる恐れがあります。
- 適合自転車、お子様の適用範囲の記載及び取扱説明書の記載を守らない場合にはSGマーク制度の賠償対象外になる恐れがあります。

SGマーク

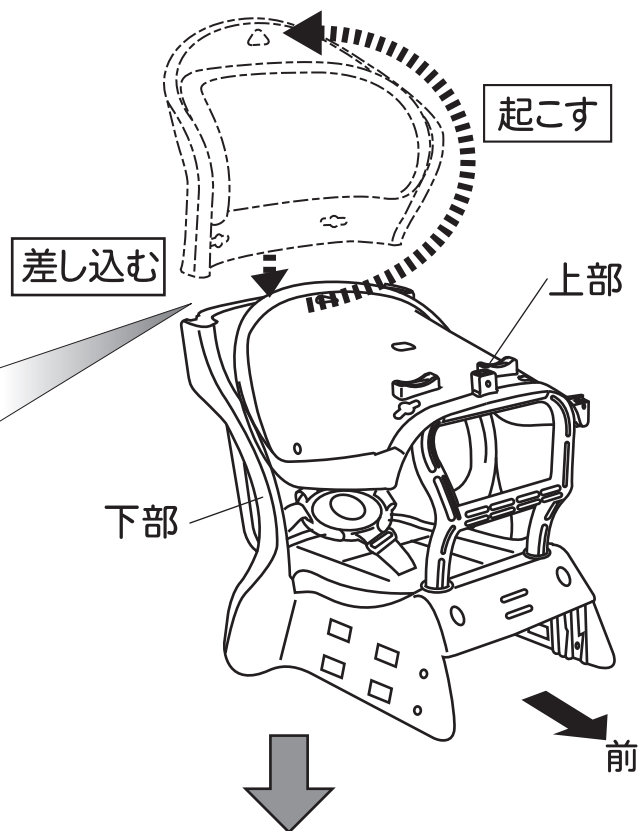
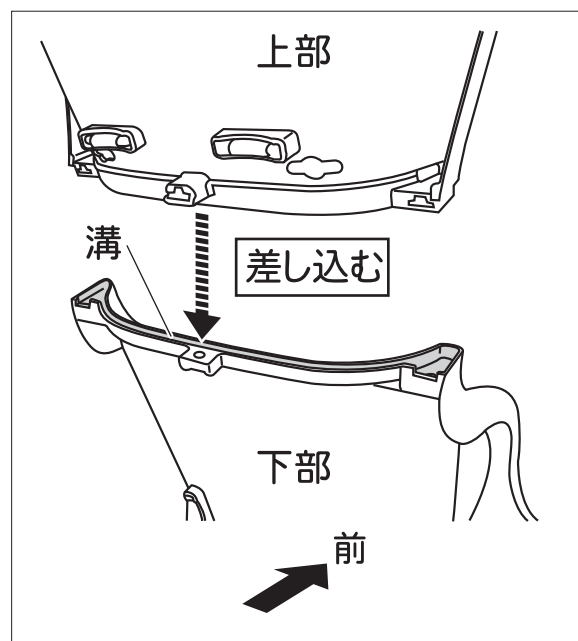
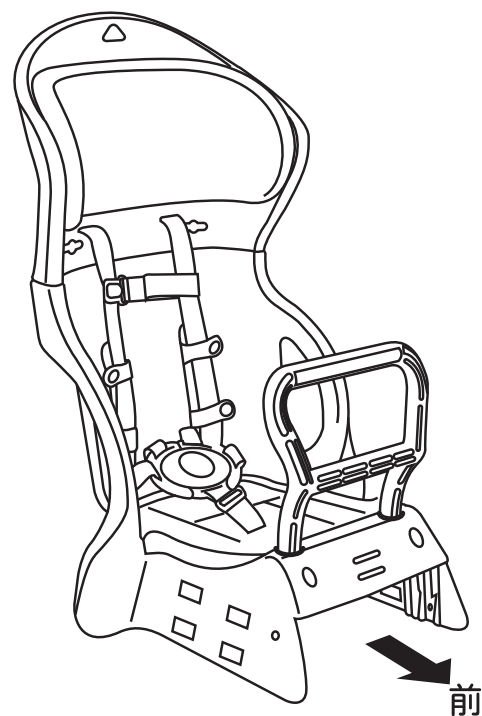
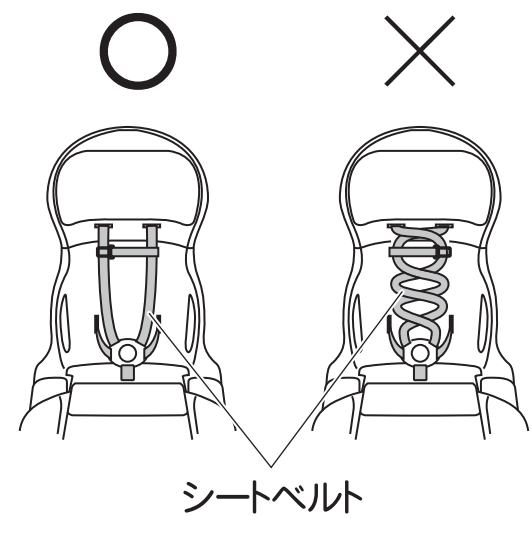
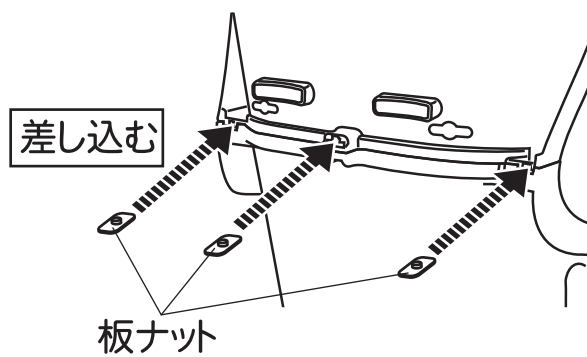
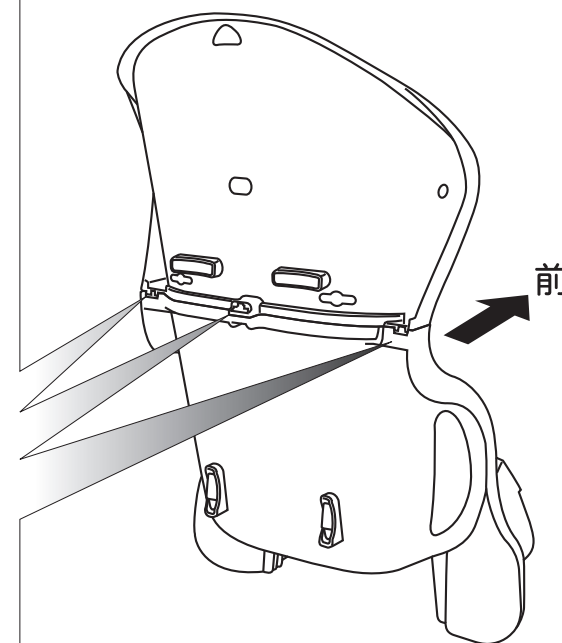
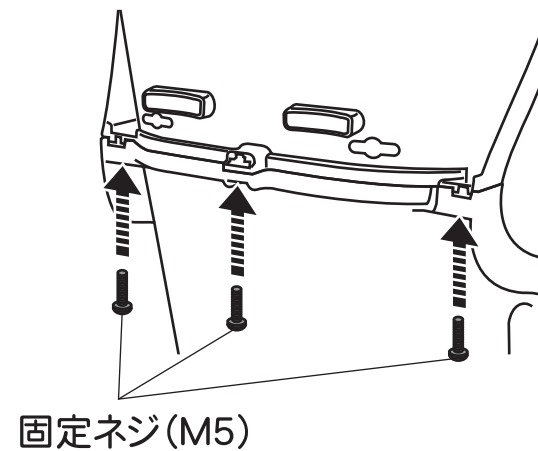
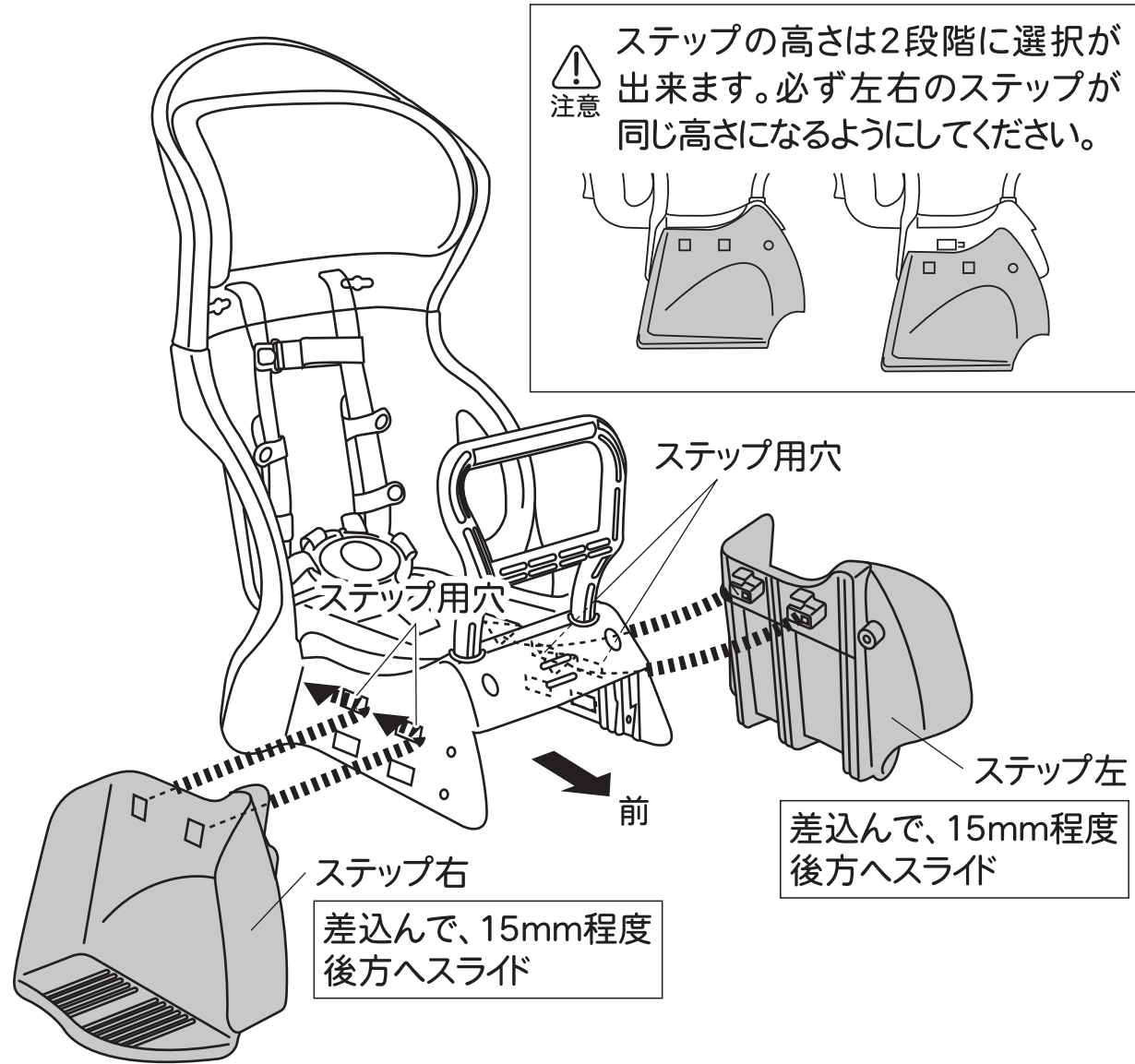
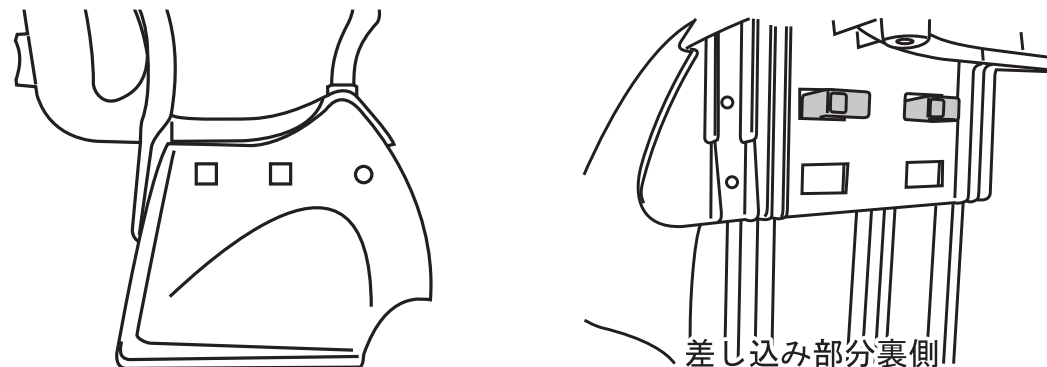
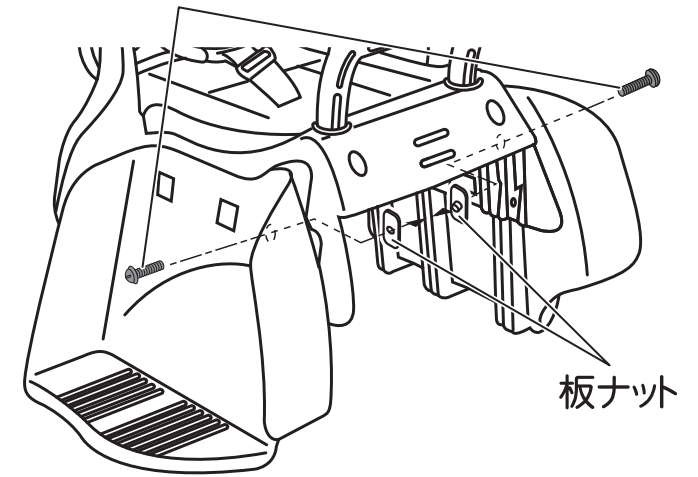
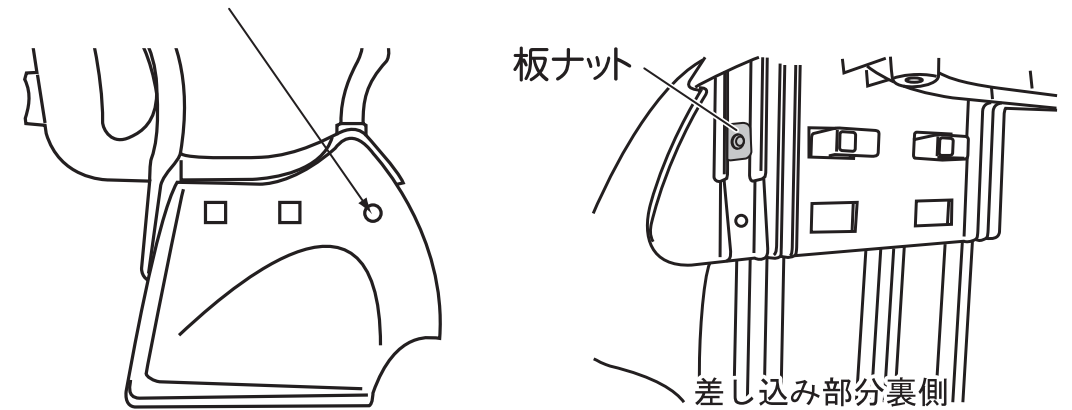
部品構成

子供のせ本体…1個

背クッション…1個

ステップ左…1個

ステップ右…1個

取付ステー…2個

板ナット…5個

取付ネジ（M6）…4個

固定ネジ（M5）…5個

安全ベルト…1セット

組立て方・取付け方

1.本体の組立

① 子供のせ本体の上部を起こして、本体の下部の溝に差し込みます。

② 子供のせ本体の上部と下部を後ろ側で板ナットと固定ネジ（M5）を使って、しっかりと固定します。

③ ステップ右とステップ左を本体のステップ用穴に差込んで、15mm程度後方へスライドさせます。

注意 差し込み部分が確実に、はまっていることを確認してください。

④ ステップ右とステップ左を固定ネジ（M5）と板ナットでしっかり固定します。

※ここに固定ネジ（M5）を差し込みます。

⑤ 安全ベルトを子供のせ本体の安全ベルト通し穴に通します。

安全ベルト通し穴

安全ベルト

前

1.安全ベルトを股部のベルト通し穴に通します。

安全ベルト通し穴

安全ベルト

2.安全ベルトを2個のアジャスターに通します。

安全ベルト　アジャスター

3.安全ベルトをバックル（凸）のA穴＊に通してからB穴＊に通します。

安全ベルト

バックル（凸）おもて側

B穴＊

A穴＊

⚠ 注意

バックル（凸）の向きに、ご注意ください。

おもて側　うら側

4.安全ベルトを再びアジャスターに通します。

アジャスター　安全ベルト

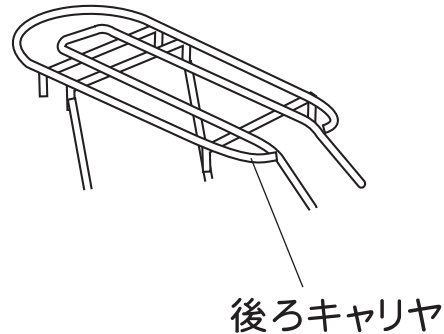
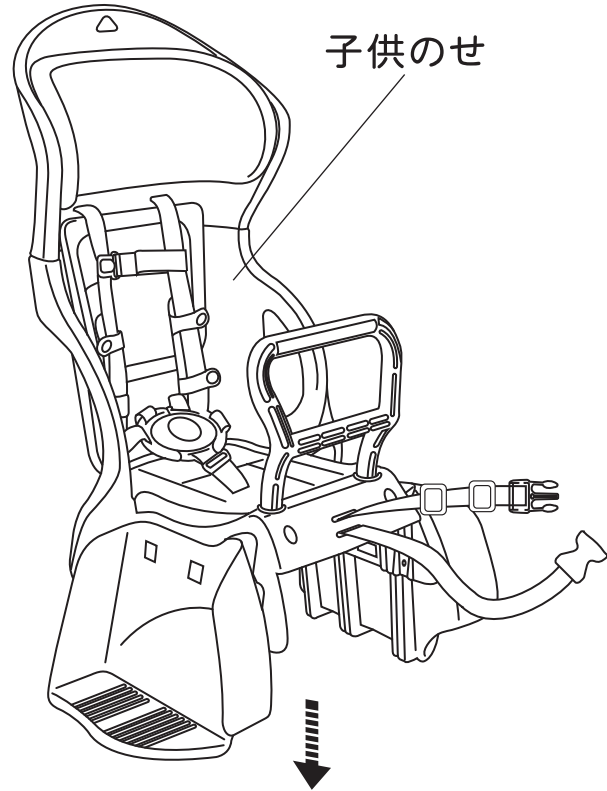
⑥ 背クッションを子供のせ本体に取り付けます。

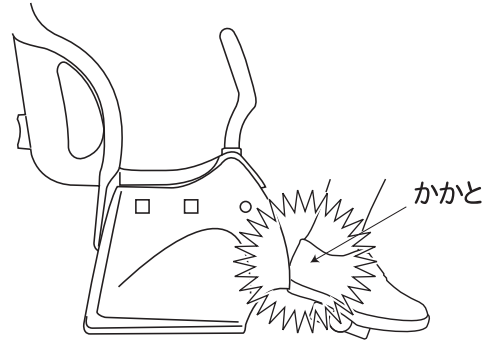
背クッション裏側の突起を本体背面のクッション取付け穴にネジ込んでください。

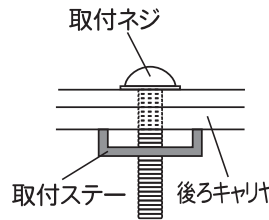
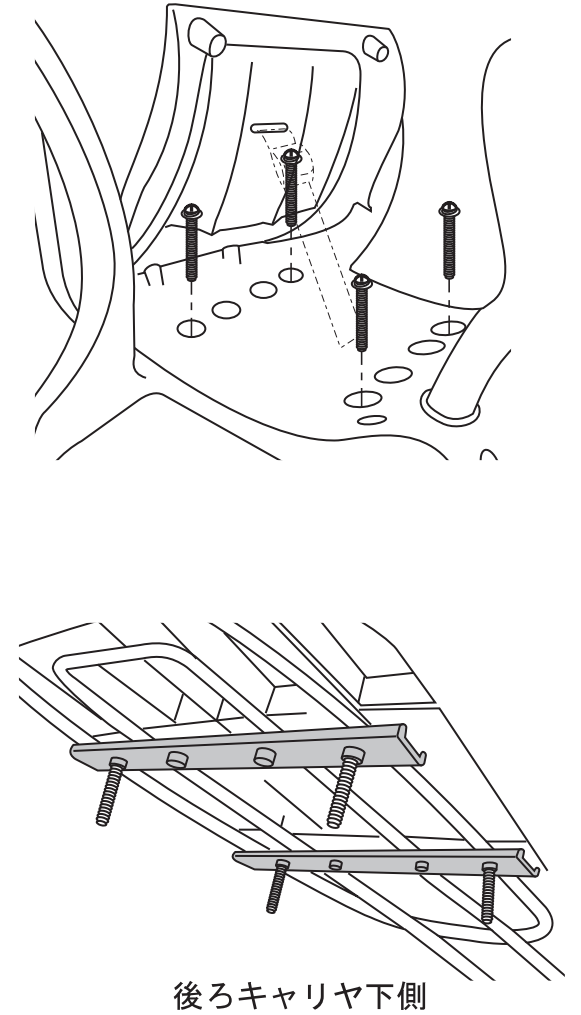
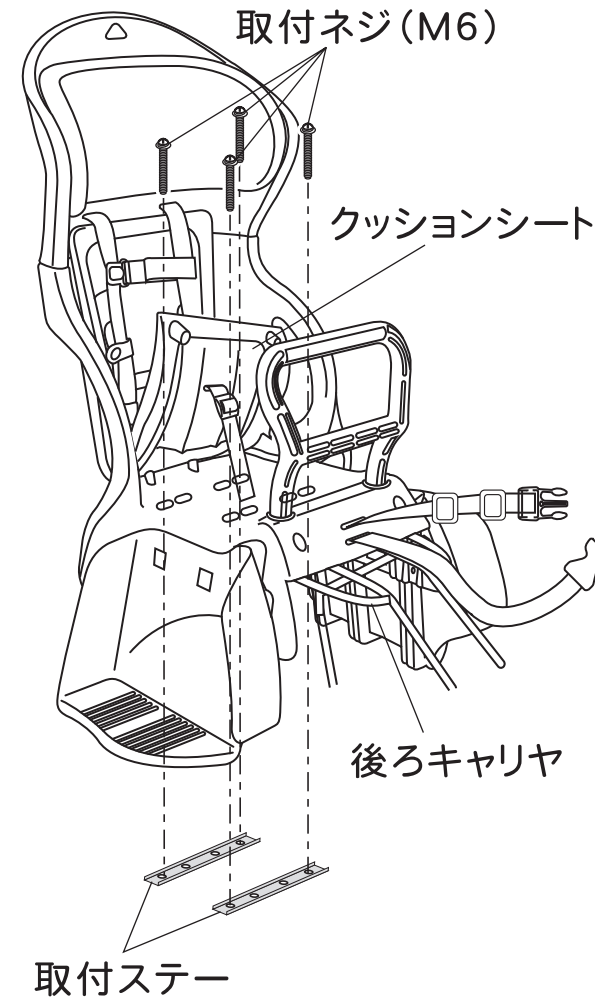
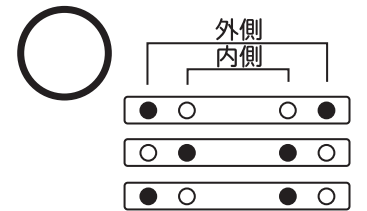
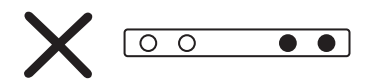
2.自転車への取付け

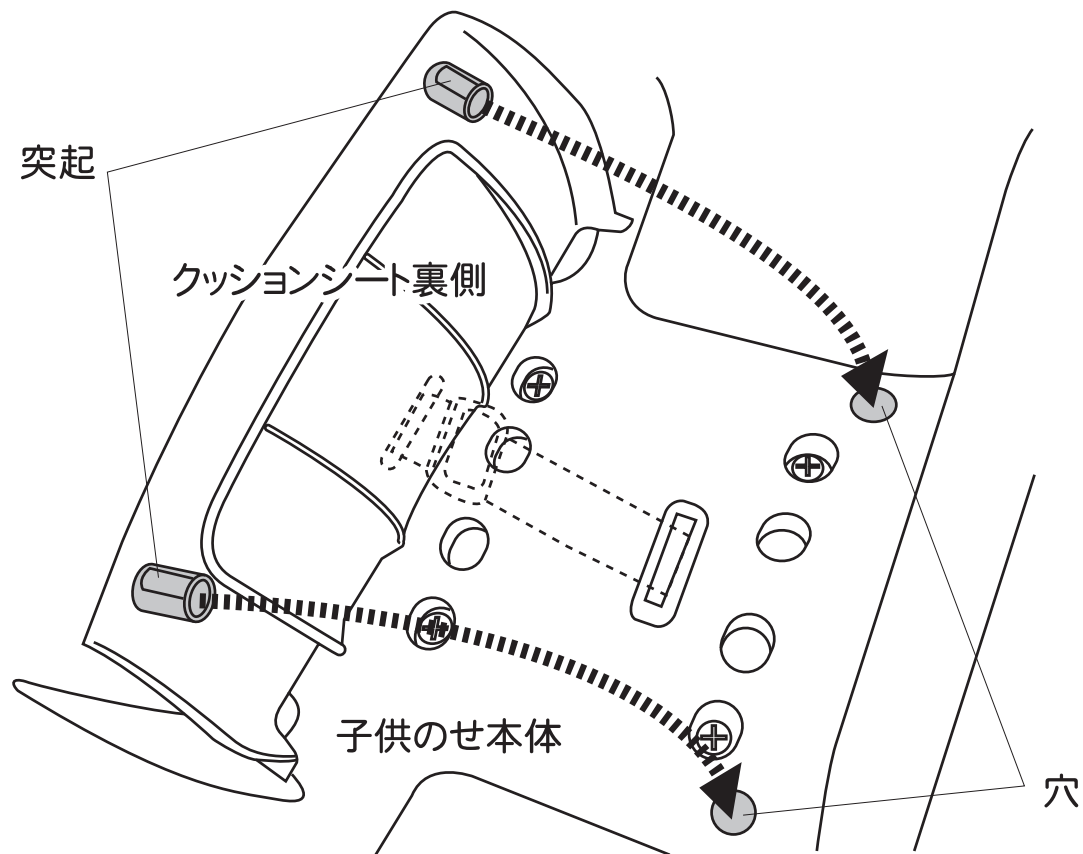
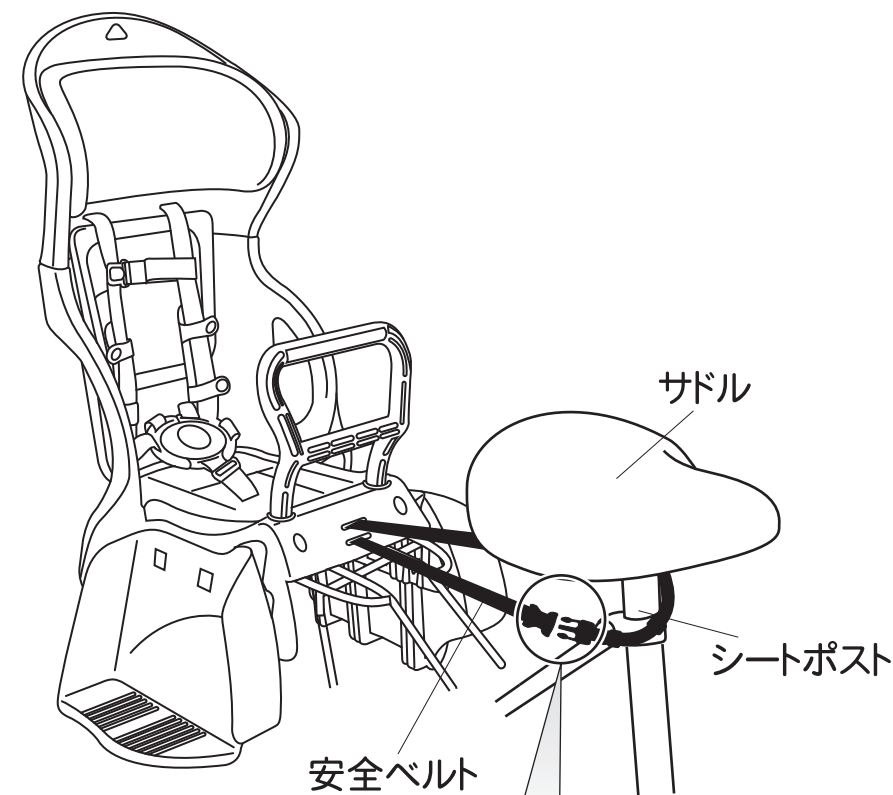
① 子供のせを自転車の後ろキャリヤにのせて、取付け位置を決めます。

注意

子供のせは出来るだけサドルに近いところに取付けてください。
後ろキャリヤの後方に取付けると、破損したり重心が不安定になる恐れがあります。

注意

24型以下の自転車に取付ける場合、前方によせ過ぎますと運転中に子供のせの巻込みガードと運転なさる方のかかとが接触する事があります。
取付けの際には充分ご注意ください。

② クッションシートを引っ張り上げて外し、子供のせ本体と取付ステーで後ろキャリヤを挟むようにあてがい、取付ネジ（M6）で固定します。

注意
取付ステーの向きにご注意ください。

重 要：
取付ステーの穴は外側、内側のどちらを使っても問題ありません。
※必ず●印の穴にネジを通してください。

注意
右側・左側だけに片寄った使用はしないでください。

注意
自転車のリヤリフレックスリフレクタ（後ろ反射板）の後方からの視認を妨げていないかよく確認し、妨げないように取付けてください。

③ クッションシート裏側の突起を子供のせ本体の穴に差し込み元の位置に戻します。

④ 安全ベルトを自転車のシートポストに巻き、バックル（凸）をバックル（凹）に差込みます。
※安全ベルトは万一後ろキャリアが破損した際の子供のせの落下を防止します。安全の為にも必ずご使用ください。

⚠警告

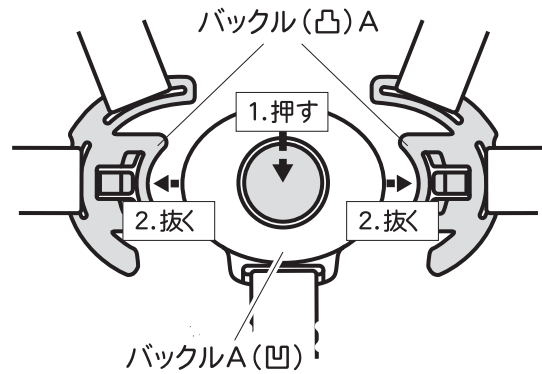
● 安全のため、安全ベルトは必ず自転車のシートポストに巻き付けてください。バックルはサドルや後ろキャリヤと干渉しないようにしてください。

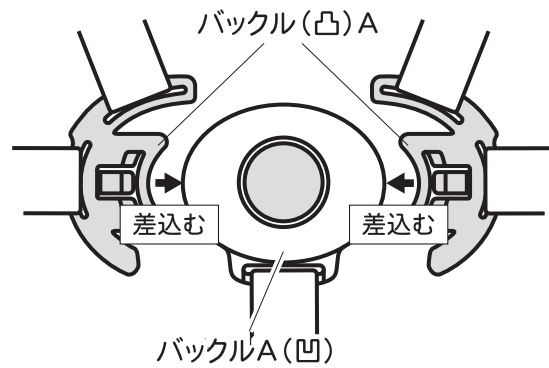
⚠注意

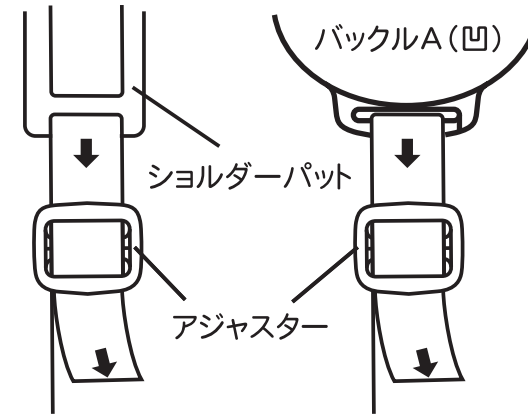
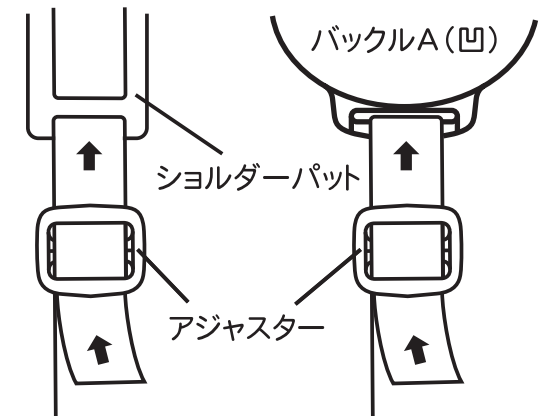
● 安全ベルトは、ぶら下げたままにしないでください。❗
● 安全ベルトの余った部分はタイヤ等への巻込みがないようにアジャスターで調整してください。又、バックルが外れた状態での乗車はしないでください。

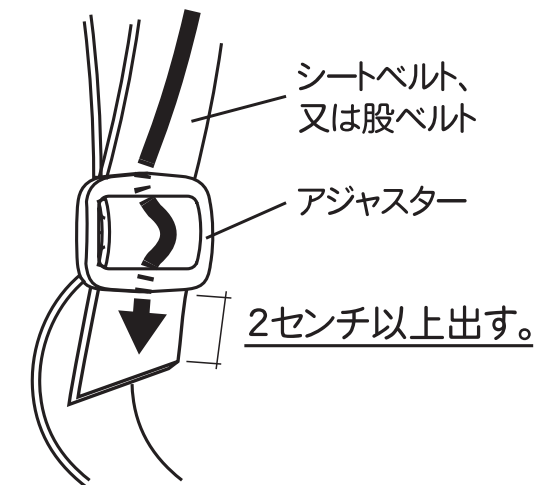
シートベルトの着脱　⚠注意：シートベルトは、ねじれの無いようにしてください。

外す時

バックルA（凹）の中心にあるボタンを押して
バックル（凸）Aを外します。

止める時

バックル（凸）Aを、バックルA（凹）に差込みます。

長さ調整の仕方

縮め方
各ベルトを矢印（➡）の方向へ引き縮め調整します。

伸ばし方
各ベルトを（➡）の方向へ伸ばし調整します。

⚠注意

シートベルト（又は股ベルト）をアジャスター穴に通した時は必ずシートベルト（又は股ベルト）の先端を2センチ以上出してください。

⚠注意

この子供のせには5点式シートベルト（補助ベルト付）が採用されています。

●シートベルトを必ず装着し使用してください。

●補助ベルトは必ずお子様の背中側にくるようにしてください。

●お子様の首に巻き付いたり体を圧迫しないように注意してください。❗